

## 12月定例会

# 一般質問

12月定例会では13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

■QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

## 高山駅西口のまちづくりに向けた取り組みは

斐翔・自民クラブ  
水門 義昭



**問** 市民文化会館や福祉センターの更新については多くの市民から要望がある。施設や機能の複合化・多機能化について、市民や地元、地権者等と十分に意見を聞き進めるべきでは。

**答** 駅西地区におけるまちづくりに向けた取り組みとして、平成30年度に基礎的な調査を実施し、駅西エリアに導入すべき機能などの整理を行った。現在は整備方針など「高山駅西地区まちづくり構想」として取りまとめる作業を行っている。今後は市民や事業者などの関係者から様々な方法によりご意見を伺いながらすすめる。



平成15年8月、高山市シビックコア地区整備計画書から

## コロナ禍での経済状況と今後の対応について

斐翔・自民クラブ  
橋本 正彦



**問** コロナ禍での市内観光関連業種の経済状況等、現状をどのように捉えているか。長期化が予想されるなか、経済活動の回復に向かっての新年度の取り組みが必要と考えるが。

**答** 国や市が実施する各種消費喚起の効果により、業況の回復に繋がっているとの意見を多くいただいている。新年度においては、現在実施している市内事業者への資金繰りに対する支援や雇用継続に向けた支援をベースとし、コロナ禍により浮き彫りとなった課題解決を図るための事業者の積極的な取り組みに対する支援についても検討していく。



## 第8期介護保険事業計画策定における課題

無会派  
小井戸 真人



**問** 国は、2025年と現役世代が急減する2040年の双方を念頭に高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据え、第8期計画に位置付けることを求めているが、第8期計画策定の考えは。

**答** 第8期介護保険事業計画においては、介護人材の確保をはじめ、高齢者の介護予防をより効果的・効率的に行うための保険事業との一体的実施や買い物などに対応した移動支援の充実、増加が見込まれる認知症高齢者の権利の擁護、高齢者の社会参加の促進、自然災害や新型コロナウイルス感染症対策などの強化に取り組んでいく。

